

リーディング DXスクール事業 【実践事例】

久喜市立江面小学校(埼玉県)【協力校】

【取組内容】知識構成型ジグソー法を用いた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

①クラウド上に学習の手引きを提示する。

【学びの手引き】

- (1) 前の時間までの学習内のかくにんし、はじめの考えを書く。(スライド1ページ目)
- (2) 自分のか題を立てる。(スプレッドシートに記入する)
- (3) エキスパート活動 (A・B・C・Dそれぞれのグループに分かれる)
- (4) ジグソー活動 (はじめのはんにもどってエキスパートで学んだことを伝える)
- (5) クロストーク (かくはんで話し合ったことを発表する)
- (6) 自分のか題のまとめをする。(自分の記ろくをいろいろな見方でせつ明する)
- (7) ふりかえりをする。(スプレッドシートに記入する)

②振り返りシートを単元を通して(自分のめあて・振り返り)活用する。

めあて	振り返り
1. 自分のか題を立てる。	自分のか題は、どのような数か分かった。
2. エキスパート活動 (A・B・C・Dそれぞれのグループに分かれる)	自分の役割は、どのような数か分かった。
3. ジグソー活動 (はじめのはんにもどってエキスパートで学んだことを伝える)	自分の役割は、どのような数か分かった。
4. クロストーク (かくはんで話し合ったことを発表する)	自分の役割は、どのような数か分かった。
5. 自分のか題のまとめをする。(自分の記ろくをいろいろな見方でせつ明する)	自分の役割は、どのような数か分かった。
6. ふりかえりをする。(スプレッドシートに記入する)	自分の役割は、どのような数か分かった。

- ③・はじめと最後の考えを各自のスライドに記入する。
 - ・エキスパートABCDそれぞれのグループでスライドを活用する。「協働的な学び」
 - ・ジグソー活動後に自分の考えをまとめる。「個別最適な学び」

問：小数で表した自分の記録の数はどんな数だといえるでしょうか。4つの見方でせつ明しよう。

◎はじめの考え

私の走り幅跳びの記録は mです。走り幅跳び



・ は 数です。

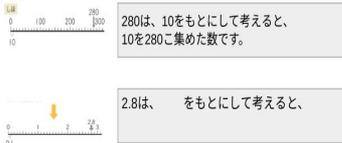
・ は 数です。

・ は 数です。

・ は 数です。

エキスパートC 0.1m=10cmだね!

しほさんの見方 (もとにする大きさがいくつ分) を使って小数の見方を考えよう。



エキスパートA 0.1m=10cmだね!

こうたさんの見方 (位ごとに分けてあわせた数) を使って小数の見方を考えよう。

280は百の位が2で、十の位が8だから、200と80をあわせた数。式で表すと280=200+80になります。

2.8は

エキスパートD 0.1m=10cmだね!

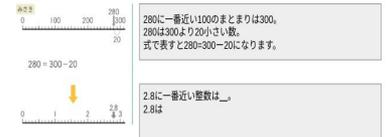
はるとさんの見方 (○を△こと□を◇こあわせた数) を使って小数の見方を考えよう。

280は百の位が2で、十の位が8、一の位は0です。280は、100を2こと、10を8こと1を0こあわせた数です。

2.8は

エキスパートB 0.1m=10cmだね!

みさきさんの見方 (○より△小さい数) を使って小数の見方を考えよう。



問：小数で表した自分の記録の数はどんな数だといえるでしょうか。4つの見方でせつ明しよう。

◎おわりの考え

私の走り幅跳びの記録は mです。走り幅跳び

・ は 数です。

・ は 数です。

・ は 数です。

・ は 数です。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けたポイント

- ・主体的に学びに向かわせるための手立てとして、1時間毎のクラスルームの課題に流れを提示し、見通しをもって学習に取り組ませる。
- ・自力解決場面では、クラウドを活用するとともに、友だちと対話や協働学習ができる学習形態で学習を進める。
- ・楽しい学びにするために、1時間の見通しを確実にもたせ、自分で課題解決の方法を選択し、学びに向かわせる。
- ・自分の成長を実感するために、スプレッドシートを活用し、自分でめあてを立て、その振り返りをさせる。
- ・見方や考え方を働かせるために、十進位取り記数法の原理に着目させたり、〇〇の何こ分かに着目し注目させたりして、計算の仕方を考させる。